

●薬価基準収載医薬品 (2022.8.18) - 新医薬品 -

【7成分9品目】

内用薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考（[作用機序]、[承認条件]等）	RMP
8/18	EPA製剤	エパデルEMカプセル 2g	2g1包	113.00	製造販売元／持 田製薬	イコサペント酸 エチル	高脂血症	イコサペント酸エチルとして、通常、 成人には1回2gを1日1回、食直 後に経口投与する。ただし、トリグ リセリド高値の程度により、1回 4g、1日1回まで増量できる。	既存の規格・剤形(S300/S600/S900/カプセル300) に新剤形(EMカプセル2g)追加。	
8/18	選択的直接作 用型第Xa因子 阻害剤	イグザレルト錠2.5mg	2.5mg 1錠	117.80	製造販売元／バ イエル薬品	リバーロキサバ ン	下肢血行再建術施行 後の末梢動脈疾患患 者における血栓・塞栓 形成の抑制	通常、成人にはリバーロキサバンと して2.5mgを1日2回経口投与す る。	既存の規格・剤形(錠10mg/錠15mg/OD錠 10mg/OD錠15mg/細粒分包10mg/細粒分包 15mg/ドライシロップ小児用51.7mg/ドライシロップ小 児用103.4mg)に新規格(錠2.5mg)追加。	
8/18	抗悪性腫瘍剤 /HSP90阻害剤	ジエゼリ錠40mg	40mg 1錠	6,265.00	製造販売元／大 鵬薬品工業	ピミテスピブ	がん化学療法後に増悪 した消化管間質腫瘍	通常、成人にはピミテスピブとして1 日1回160mgを空腹時に投与す る。5日間連続経口投与したのち 2日間休薬し、これを繰り返す。な お、患者の状態により適宜減量す る。	ピーク時の予測投与患者数：82人/年。 [作用機序] 本剤は、HSP90によるクライアントタンパクの高次構造の 形成を阻害することにより、腫瘍の増殖に関与するタンパ クの発現量の減少、アポトーシスの誘導等を介して腫瘍 増殖抑制作用を示すと考えられている。 [承認条件] 全症例対象の製造販売後調査の実施。	
		HSP: Heat Shock Protein (ヒートショックプロテイン)								
8/18	抗ウイルス剤	ラゲブリアオカプセル 200mg	200mg 1カプセル	2,357.80	製造販売元／ MSD プロモーション提 携／杏林製薬	モルヌピラビル	SARS-CoV-2による感 染症	通常、18歳以上の患者には、モ ルヌピラビルとして1回800mgを1 日2回、5日間経口投与する。	[作用機序] 本剤はプロドラッグであり、N-ヒドロキシシチジン(NHC)に 代謝され細胞内に取り込まれた後、活性型であるリボヌク レオシド三リン酸化体(NHC-TP)にリン酸化される。 NHC-TPがウイルス由来RNA依存性RNAポリメラーゼに よりウイルスRNAに取り込まれた結果、ウイルスゲノムのエ ラー頻度が増加し、ウイルスの増殖が阻害される。	

注射薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能・効果	用法・用量	備考（[作用機序]、[承認条件]等）	RMP
8/18	軟骨無形成症治療薬	ボックスゴ皮下注用 0.4mg	0.4mg 1瓶（溶解液付）	121,034	製造販売業者／ BioMarin Pharmaceutical Japan 製造業者／ BioMarin International Limited, Ireland	ボソリチド（遺伝子組換え）	骨端線閉鎖を伴わない軟骨無形成症	通常、ボソリチド（遺伝子組換え）として、2歳以上の患者には15μg/kgを、2歳未満の患者には30μg/kgを1日1回、皮下注射する。ただし、1回投与量は1mgを超えないこと。	希少疾病用医薬品 （ピーク時の予測投与患者数：515人/年）。 [作用機序] 本剤はC型ナトリウム利尿ペプチド(CNP)の類縁体である。軟骨無形成症は、軟骨細胞の増殖及び分化の負の調節因子である線維芽細胞増殖因子受容体3(<i>Fgfr3</i>)遺伝子の機能獲得型変異によって引き起こされる。本剤はナトリウム利尿ペプチド受容体-B(NPR-B)に結合することでFGFR3の下流シグナル伝達を阻害し、軟骨細胞の増殖及び分化を促進する。 [承認条件] 全症例対象の製造販売後調査の実施。	8/18現在無し。
		ボックスゴ皮下注用 0.56mg	0.56mg 1瓶（溶解液付）	124,241						
		ボックスゴ皮下注用 1.2mg	1.2mg 1瓶（溶解液付）	124,994						
8/18	抗悪性腫瘍剤/ 有機ヒ素製剤	ダルビアス点滴静注用 135mg	135mg 1瓶	31,692	製造販売元（輸入）／ソレイジ ア・ファーマ 販売元／日本化 薬	ダリナバルシン	再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	通常、成人にはダリナバルシンとして1日1回300mg/m ² （体表面積）を1時間かけて5日間点滴静注した後、16日間休薬する。この21日間を1サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	ピーク時の予測投与患者数：361人/年。 [作用機序] 本剤は、生体内における無機ヒ素化合物の代謝過程で生じる中間代謝物の一つであり、グルタチオン抱合体構造を有する有機ヒ素化合物である。 本剤は、ミトコンドリアの機能障害（膜電位の低下等）、細胞内活性酸素種の産生促進等を引き起こすことにより、アポトーシス及び細胞周期停止を誘導し、腫瘍増殖抑制作用を示すと考えられている。 [承認条件] 全症例対象の製造販売後調査の実施。	
8/18	抗補体(C1s)モノクローナル抗体	エジヤイモ点滴静注 1.1g	1.1g 22mL 1瓶	244,074	製造販売元／サ ノフィ	スチムリマブ （遺伝子組換え）	寒冷凝集素症	通常、成人にはスチムリマブ（遺伝子組換え）として、1回6.5g又は7.5gを点滴静注する。初回投与後は、1週後に投与し、以後2週間の間隔で投与する。	希少疾病用医薬品 （ピーク時の予測投与患者数：82人/年）。 [作用機序] 本剤は、ヒト古典的補体経路C1sに対する遺伝子組換えヒト化IgG4モノクローナル抗体であり、C1sのC4への開裂を阻害することで、寒冷凝集素症患者における古典的補体経路を介した溶血を抑制する。なお、レクチン経路及び代替経路には作用しない。 [承認条件] 全症例対象の製造販売後調査の実施。 本剤の投与が、寒冷凝集素症の診断、治療に精通し、本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関のもとで、髄膜炎菌感染症の診断、治療に精通した医師との連携を取った上でのみ行われるよう、製造販売にあたって必要な措置を講ずること。	